

2024年11月15日

### 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成・総合保障の提供を通じた暮らしの安心に貢献するため、以下の取組方針を制定しました。

「存在理念 暮らしをみつめる」「経営理念 組合員の営農と生活に対し『最大奉仕』を目指す」「行動理念 協同の原点に立ち返り農業とそこに住む人々のかけ橋なる」を J A 理念と定め、職員一人ひとりが念頭に置き、組合員・利用者みなさまに質の高いサービスの提供を行ってまいります。

本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、より組合員・利用者本位の業務運営を実現するための本方針を必要に応じて見直してまいります。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

ひまわり農業協同組合

# I.取組状況

## 1 組合員・利用者への最良・最適な商品の提供

### (1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3)】

- 組合員、利用者の皆さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、「社会情勢や良心的な手数料の観点」や「運用実績が良好である」ことを踏まえたうえで、商品の絞り選びやすさを重視し、多様なニーズにお応えできるものを選定します。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

<商品選定の考え方>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末:1)	5 (前年度末:5)
株式型	3 (前年度末:3)	5 (前年度末:5)
REIT型	1 (前年度末:2)	3 (前年度末:3)
バランス型	7 (前年度末:10)	

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、JAバンクが独自の基準で、長期投資に適した投資信託を厳選しました。

※商品選定の考え方: JAバンクHP  
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

# I.取組状況

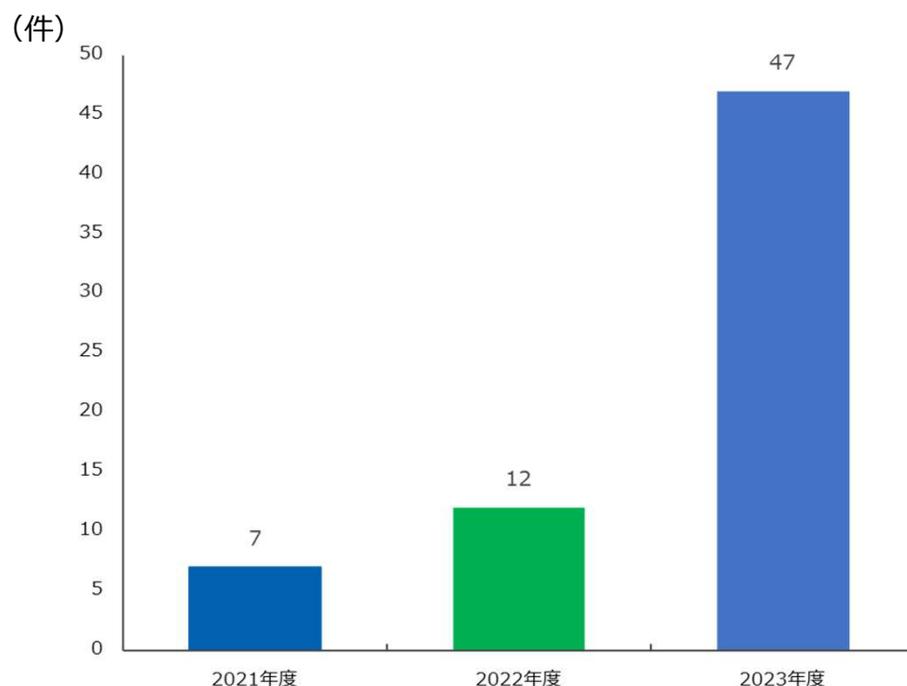
## 2 組合員・利用者本位の提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、  
原則6本文および(注1、2、4、5)】

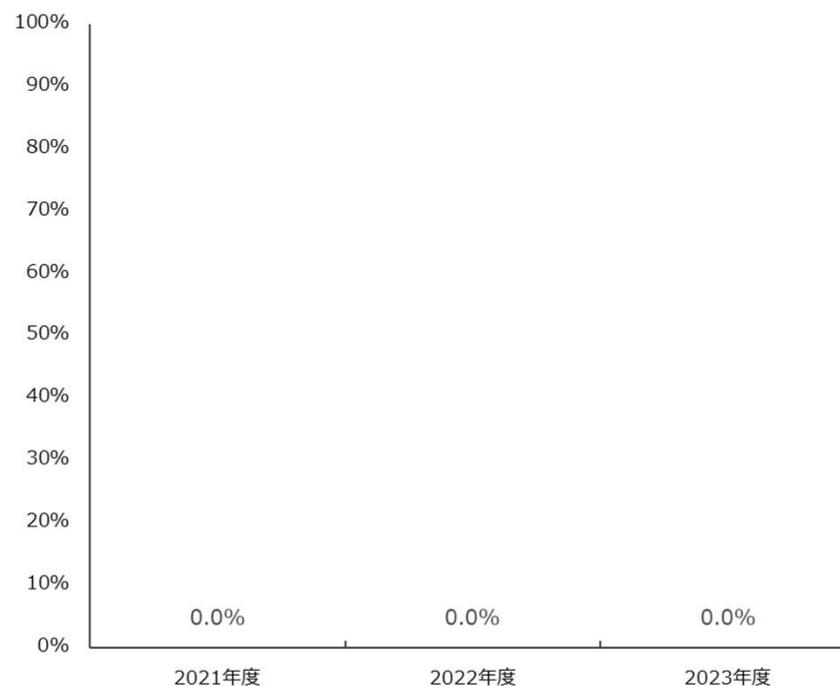
### (1) 信用の事業活動

組合員・利用者一人ひとりとの対話を重視し、資産状況・金融商品知識・投資経験・リスク許容度を踏まえ運用目的に寄り添った提案を行います。また、資産形成や老後の備えでは「NISA」や「iDeCo」の案内などニーズや目的に合わせて、ふさわしい金融商品を提案します。分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率は0.0%となっております。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞





# I.取組状況

## 3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および(注)】

組合員・利用者の皆さまへの金融商品の選定やご提案にかかる情報提供にあたり、組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」等に基づき、適切に管理します。

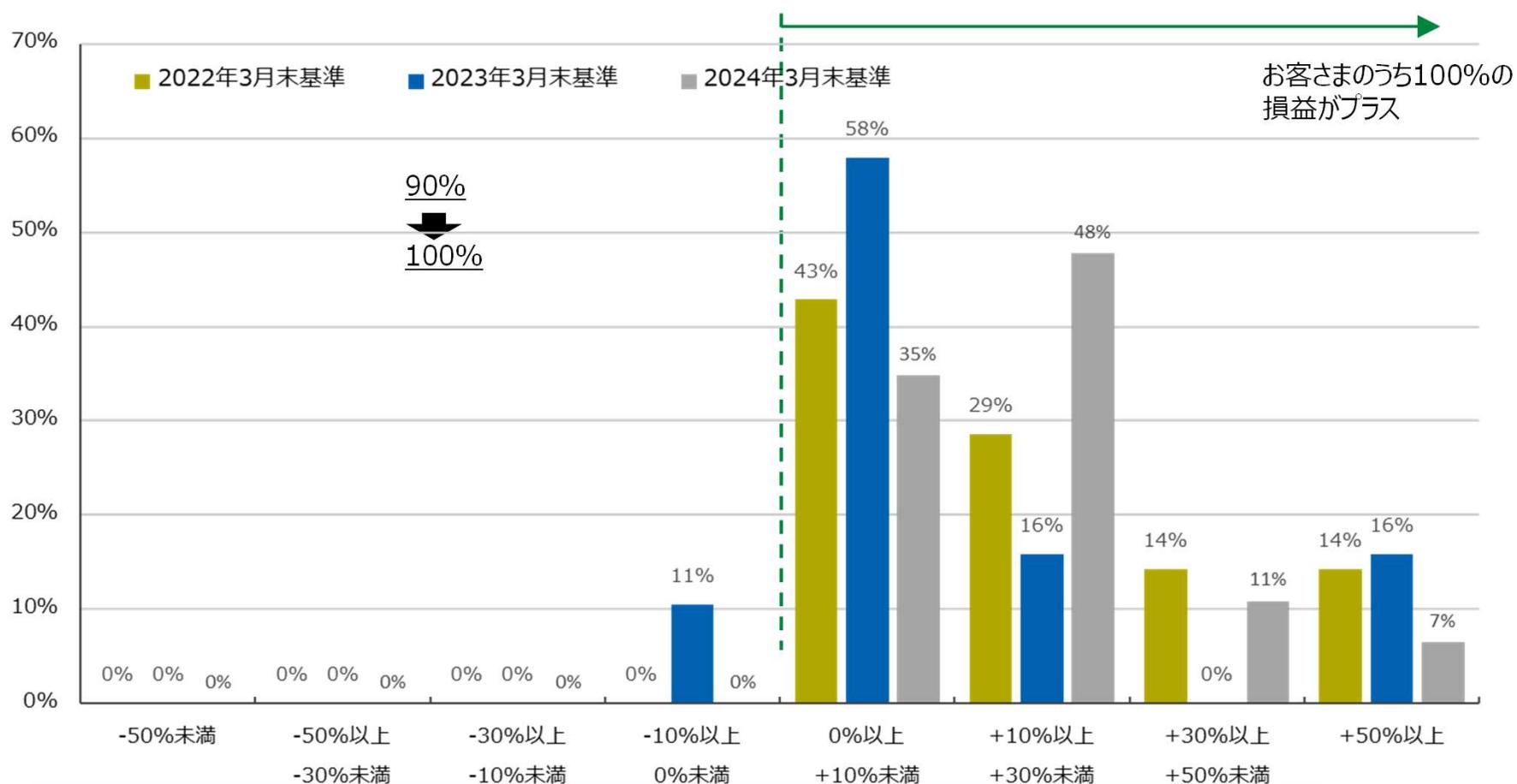
## 4 組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)原則7本文および(注)】

- ・当組合は、「JAひまわり人材育成基本方針」に基づき、職員一人ひとりが組合員・利用者の皆さまを最優先に考えて行動するよう人材の育成をすすめます。外務員資格の取得と継続的な研修を通じて「組合員・利用者に寄り添った適切な提案」、「高度な専門性」、「誠実・公正な業務遂行」、「堅確な事務処理」を確認・意識させることにより、組合員・利用者本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。
- ・当組合は、組合員・利用者の皆さまのライフプラン(夢)を実現するための提案活動が行えるように、継続的な学習機会を設け職員の知識向上に努めます。
- ・当組合は、「手数料の実績に偏重しない販売体制の構築」や「ライフプランに寄り添った提案活動の評価」の取組みに努めます。
- ・当組合は、組合員・利用者の皆さまからいただいた声(お問合せ・ご相談、ご要望、苦情など)を誠実に受け止め、業務改善に努めます。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

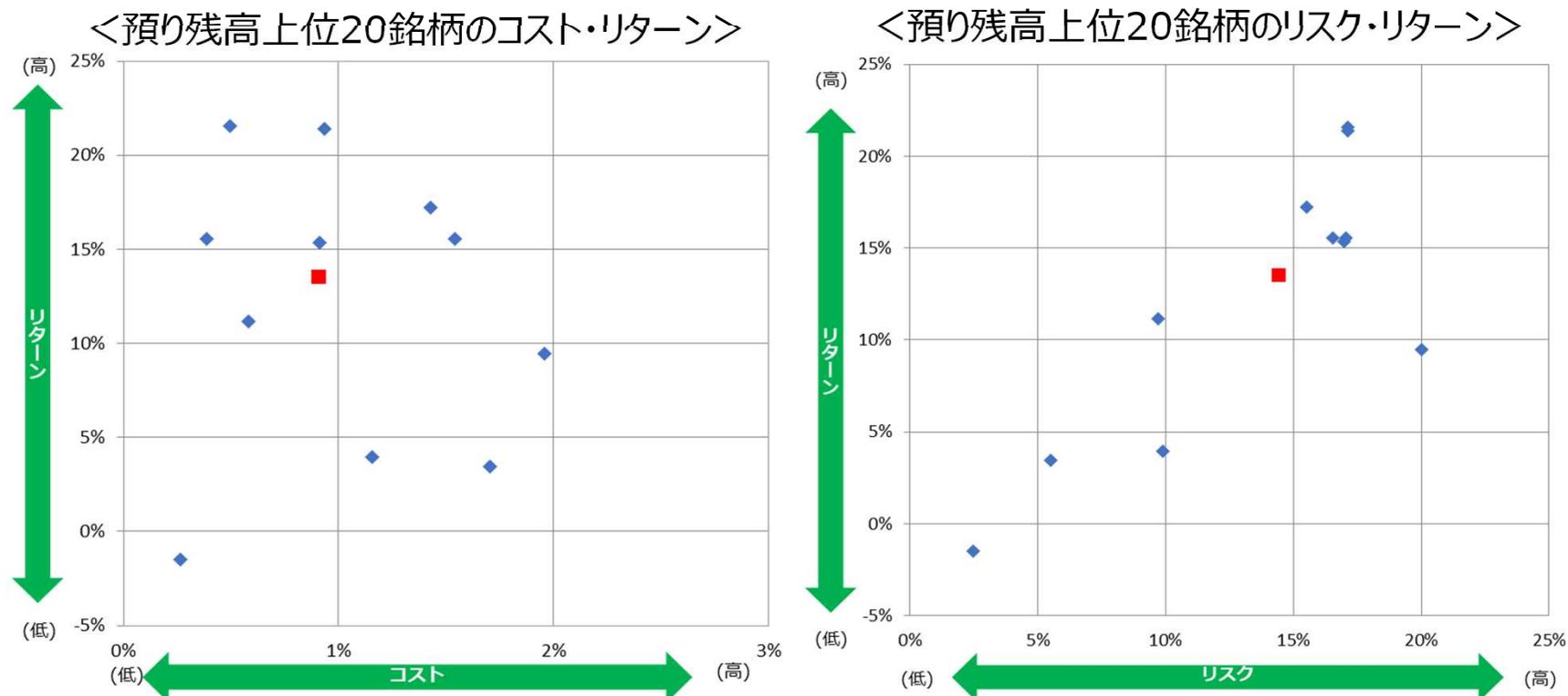
- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がプラスとなりました。



## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.91%、平均リスク14.44%に対して、平均リターンは13.53%でした。

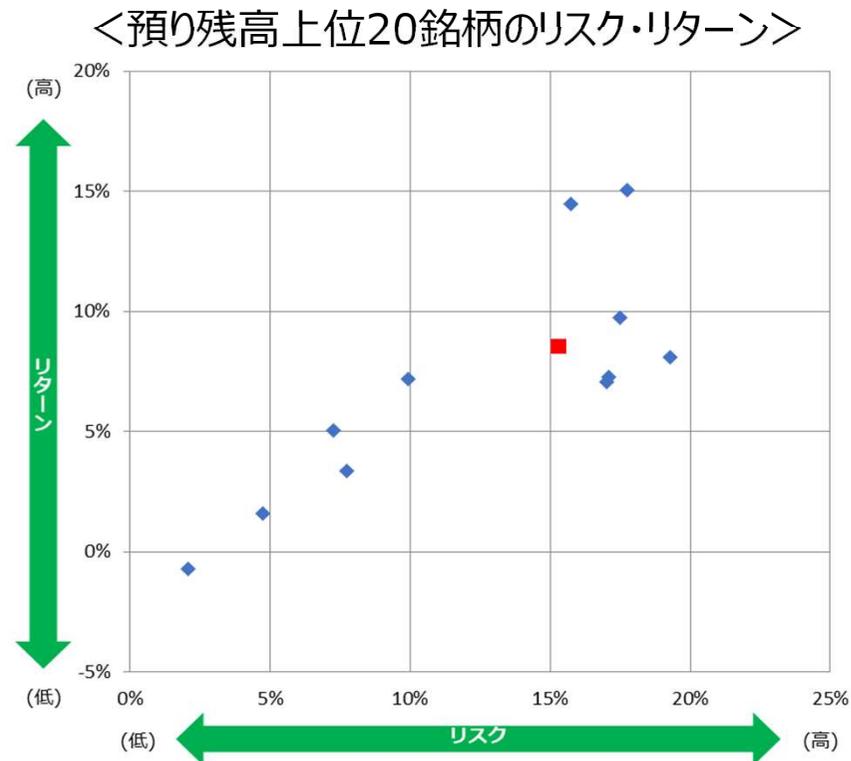
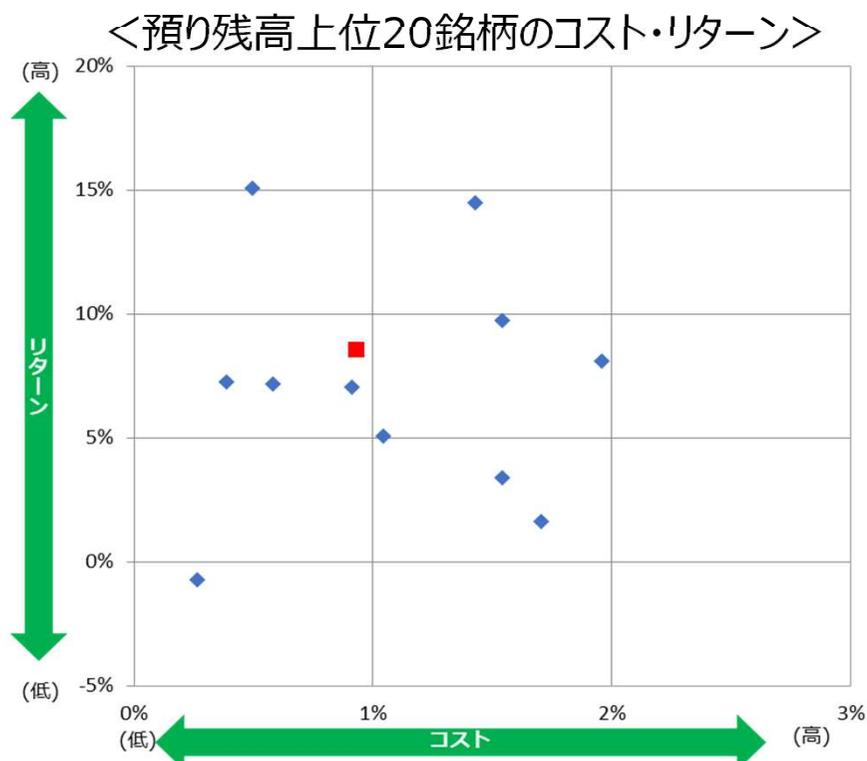


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.93%、平均リスク15.32%に対して、平均リターンは8.55%となりました。

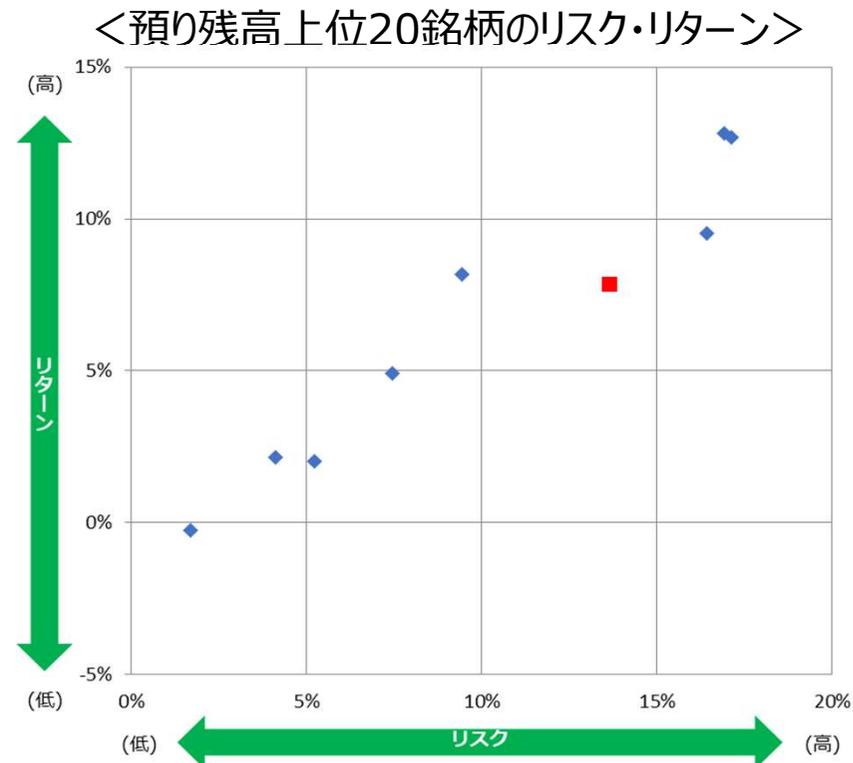
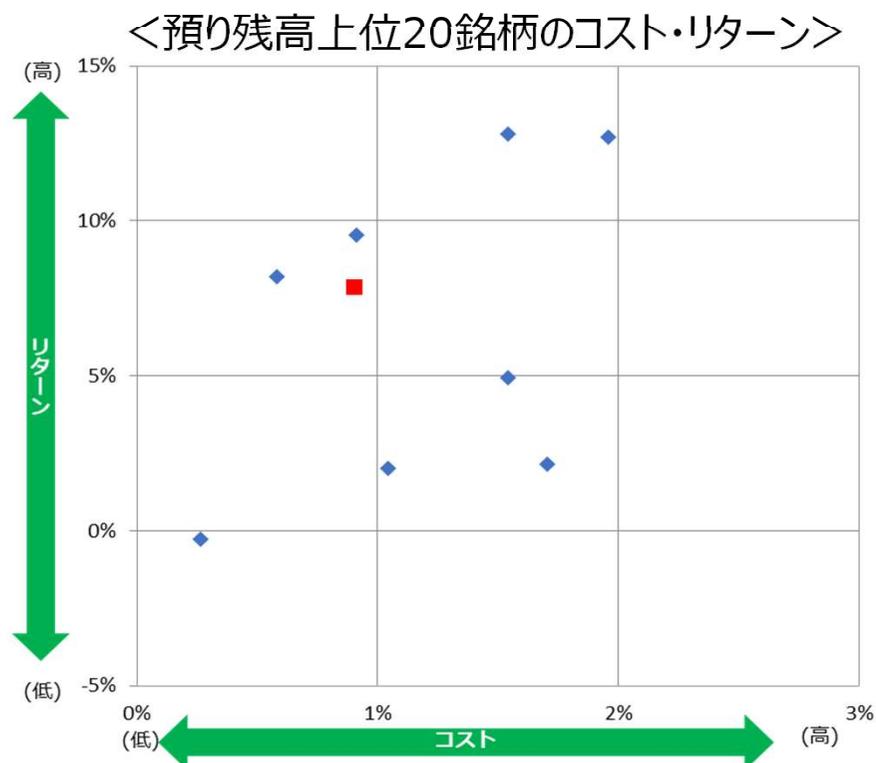


※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

- 2022年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.90%、平均リスク13.63%に対して、平均リターンは7.86%でした。



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (1/3) (2024年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.34%	17.00%	0.91%
2	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.95%	9.89%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.55%	17.11%	0.50%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	11.15%	9.72%	0.58%
6	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	21.40%	17.11%	0.94%
7	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.47%	2.46%	0.26%
8	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.57%	17.06%	0.39%
9	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	15.53%	16.54%	1.54%
10	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	9.47%	20.01%	1.96%
11	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJアセットマネジメント(株)	3.47%	5.52%	1.71%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		13.53%	14.44%	0.91%

※ 2024年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (2/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
2	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
6	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
7	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	8.09%	19.30%	1.96%
9	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.07%	7.26%	1.05%
10	JA資産設計ファンド(成長型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.37%	7.75%	1.54%
11	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	1.60%	4.75%	1.71%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		8.55%	15.32%	0.93%

※ 2023年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

## Ⅱ.比較可能な共通K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2022年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.53%	16.42%	0.91%
2	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.26%	1.70%	0.26%
3	農中US債券オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	2.02%	5.21%	1.05%
4	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	12.81%	16.91%	1.54%
5	ダイワ・グローバルREIT・オープン	大和アセットマネジメント(株)	12.69%	17.12%	1.96%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	8.19%	9.42%	0.58%
7	J A資産設計ファンド(成長型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.92%	7.45%	1.54%
8	グローバル・ソブリン・オープン毎月決算型	三菱UFJ国際投信(株)	2.16%	4.12%	1.71%
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		7.86%	13.63%	0.90%

※ 2022年3月末基準時点における共通K P Iの対象となるファンド数は8本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。